

平成24年度 福祉コミュニティーセンターの管理運営に対する評価表

所管課:健康福祉部生活福祉課

評価対象期間:平成24年4月1日～平成25年3月31日

1. 指定管理者

指定管理者	国際ライフパートナー株式会社
指定期間	平成21年4月1日～平成26年3月31日(5年間)
施設概要	福祉施設としての場所の提供、情報の発信地、施設の特性を生かした福祉事業の展開などを通じて、高齢者、障がい者、児童等の社会参加を促進するとともに、ボランティア活動の育成を図ることを目的とする。
指定管理料	9,248千円(5年間 46,870千円)

2. 管理運営の主な内容

項目	24年度の状況
運営状況	<ul style="list-style-type: none"> ○平等利用の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・施設利用者に対する平等で均一なサービスを心がけるとともに、利用者団体との意見交換を心がけ業務を実施している。 ○自主事業の展開 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者陶芸教室研修会において、徳島県鳴門市「矢野陶苑」にて、大谷焼きの体験バスツアーの開催した。 ・年間を通じての陶芸教室や、定期的なおはなし広場や小物づくり教室の開催。季節に応じた工作サマースクールやおもちゃクリスマス等の事業を実施した。 ○施設の情報提供 <ul style="list-style-type: none"> ・市の担当部署の協力により、広報を活用してコミセンの活動を掲載した。 ・「コミュニティーセンターだより」を毎月発行した。 ・ホームページによる情報発信を行った。 ホームページの内容は、テルウェル西日本㈱に委託し、知的財産・個人情報・表記・表現及び「公の施設としてふさわしいか」等を確認後、アップしている。 ○人権問題の取組み <ul style="list-style-type: none"> ・本社人事部長(元兵庫県警警視)の巡回訪問時に基本的人権等の現場研修を実施し、人権に関する正しい認識を持って業務を遂行するとともに、人権啓発に努めるよう指導した。また、市が開催する人権研修に参加し、インターネットを利用した人権侵害といった今までにない人権問題についての意識を持つことにより人権啓発に努めた。 ○安全確保対策 <ul style="list-style-type: none"> ・災害時対策本部を設置した。本社専務取締役が本部長を兼任し、災害時等においては、本社担当者もしくは本部長が駆けつけ指揮とる体制を確立した。
維持管理状況	<ul style="list-style-type: none"> ○保守点検 <ul style="list-style-type: none"> ・本社 ビルメンテナンス課の職員において定期的な巡回点検を行っている。 ・1階障がい者トイレ水漏れ補修工事を行った。 ・1階事務所内の空調機補修工事を行った。 ・2階第2活動室の畳取替工事を行った。 ・陶芸釜の腐食部分(天板・扉)補修工事を行った。 ○備品の管理 <ul style="list-style-type: none"> ・備品管理台帳をもとに管理している。 ○清掃業務 <ul style="list-style-type: none"> ・日常清掃(週5日)、定期清掃(月1回)、特別清掃(年2回)を実施した。 ○警備業務 <ul style="list-style-type: none"> ・大阪ガスセキュリティーに夜間の機械警備業務を委託している。 ・子どもが利用する部屋に設置している監視カメラの保守点検を実施した。 ○環境保全への取組み <ul style="list-style-type: none"> ・エコキャップ回収箱を設置し、分別によるリサイクル化及びCO2削減に努めた。 エコキャップ推進協会に公表されているコミセンの累計回収実績は、154,660個である。 ・環境負荷実態把握調査の実施した。 ・空調設備の温度管理の徹底及びトイレ等の消灯を徹底した。

利用状況	<ul style="list-style-type: none"> 23年度の利用団体数は、1,227件に対して、24年度は1,149件と約6.4%減少した。 23年度の利用人数は、14,927人に対して、24年度は14,630人と約2%減少した。
収支状況	<ul style="list-style-type: none"> 23年度の支出は、9,498,585円に対して、24年度は9,293,170円と約2%の縮減となった。 主な縮減の要因は職員の人件費であり、自主事業を実施している日においては終日2名体制をとっていたが、事業が重複している時間帯のみを2名配置にしたためである。 市の支出としては、前年度と比較して252(千円)(約3%)の縮減となった。 23年度 9,500(千円) 24年度 9,248(千円)

3.利用者へのアンケート調査

項目	24年度の状況
調査の実施内容	対象：全施設利用団体 調査期間：平成24年12月1日～12月25日 調査方法：各団体にアンケート用紙を手渡し 回答件数：利用団体45団体のうち39団体 回収率：86.6%（※前年度の回収率は91.4%）
調査の結果	職員の対応について総合的な感想 <ul style="list-style-type: none"> 職員の対応については「満足」24件、「普通」12件、「不満」1件、「個人差あり」が2件と「満足」及び「普通」の回答比率が92.3%となっている。
主な要望・意見等	<ul style="list-style-type: none"> コンセントの数を増やしてほしい。(1件) 職員の方の対応は個人差がありとても快く対応してくださる方と、なかなか相談しにくい方があり気を使います。(1件) いつもありがとうございます(1件) ちょっとした備品を置かせてほしい。(1件) 最近気持ちよく使用させていただいています。ありがとうございます。(1件)

4.施設の評価

管理運営の総合評価	○5	○4	●3	○2	○1
講評	<p>自主事業の取組みについては、市民や利用者との協働による事業展開に取り組んでおり評価できる。</p> <p>建物・設備の保守管理については、畳の取替えや陶芸窯の補修など適切なメンテナンスを行い良好な利用環境を確保している。</p> <p>清掃業務については、老朽化した施設とは思わせないほどきれいに保たれており、アンケート結果でも高評価を得ていることから、評価したい。</p> <p>また、指定管理料については、人員配置の効率化等により、前年比3.0%の縮減を果たしている。</p> <p>しかし、利用者数及び利用団体数はともに減少しており、利用者数については2年連続の減少となっている。特に夜間の空室が目立つため、原因を検証し、利用者増につながる対策を考慮されたい。</p> <p>これらを総合的に判断すると「3」という評価が妥当であると考えられ、今後更なる創意工夫を行い、利用者の満足度を高めていただきたい。</p>				